



発行責任：浄土真宗本願寺派
善了寺住職 成田智信
創刊号
発行日：平成17年6月1日

お寺のデイサービス 還る家とともに かえるいえ ニュース

生と老いと病と死と、
喜びも悲しみも、ともに歩みたい...
誰もがいつでも
心の深呼吸ができる場所

坊守日誌

住職の妻であり、子供達の母でもあり、デイサービスの顔でもあり、善了寺の護りの要である坊守成田美砂のつぶやきをつづりました。ホームページに掲載しているものとほぼ同じ文章です。

5月23日、宮林幸江先生をお迎えし「悲しみを語る会」を開催しました。参加者20名程、「大切な人を亡くしてから、始めて泣きました」「何となくイライラしてしまっていたのは、悲しみを受け入れていなかったからだだったのかも」など。参加者それぞれの悲しみ苦しみを宮林先生とともに分かち合い、涙しました。

「年を取られた年配の方が、死別の深い悲しみにより、閉じこもったり、落ち込んだりしているとき、回りの者が認知症になったと決めつけてしまい、係わることを粗末にしてしまい、いつまでも、悲しみが癒されない」こともある。との宮林先生のご意見も伺いました。一人でも二人でも、日頃抱えている深い悲しみから笑顔に変わることが出来るよう、この会は、お寺として、本当に大切にしていきたい会の一つです。

デイサービスで、ご利用者の方と一緒にぬか漬けを作っています。我が家（還る家とともに）のぬか漬けの味を昼食の時にご利用者のみんなで楽しんでいます。毎日ぬか床をかき混ぜなければなりません。怠け者の私には、とつても厳しいことです。毎日、子どもに漢字の練習をさせている私は、「なんで言われないとしないのよ！」と、これまた、毎日言っていますが、子どもに、「ぬか漬けのことは忘れるのに、僕の勉強のことは、よく覚えてるよね。」と、一本取られてしまいました。

デイサービスで、私の姉で、民謡歌手の今井由里に三味線片手に歌いに来てもらいました。売れっ子なので（笑い）なかなか、千葉から頻繁に来てもらうことも出来ず、三味線を置いていつてくれることになりました。小学2年生の時に習った記憶をよみがえらせようと、姉に習っていたら、にこにこしながら、ご利用者のAさんに言われました。「何であなたも習わな



ボランティアさん大募集です。

善了寺ニュースに総代方からのお願いを頂きました。本当に有り難いことです。私たちのお寺が、少しでも、大勢の皆様の安心と出遇いの場になるようお力をお貸してください。ご賛同頂ける方は、あらかじめご連絡頂きますようお願い申し上げます。今募集中のボランティアは以下の通りです。

お話相手ボラ・・・ 還る家の居間でゆっくり聴くことを大切に共にいてくださる方。

お食事づくりボラ・・・ 一緒にお食事をつくるお手伝いをしてくださる方
などなど～できることからはじめましょう

善了寺のボランティアさんは基本的に打ち合わせをします。時間などご都合にあわせて、お時間のある時にお力をお貸してください。詳細はお寺までお問い合わせ

住職のつぶやき

どうぞ皆様のお力をお貸してください。おいでになるみなさん一人ひとりのお力があって初めて、笑顔と出会うことのできる場が生まれてきます。
老いと闘うのではなく、一緒に受け入れていくこと。それは、老いを迎えても、障害があっても生活を大切にみんなで作りあげていくことだと思います。
どうぞいつでもお気軽に立ち寄ってください。阿弥陀様の大慈悲は誰にでも働いています。比較や思いこみで人を見る悲しさを超えて、お念仏申し誰もが手を取り合える仲間を大切にしてまいりましょう。

1日体験のすすめ

いつでも、体験ご利用受付ます。食事・入浴・送迎（1日千円）ご家族も一緒に体験できます。

お気軽にご連絡ください。



お 願 い

下記のものでお使いにならないものがありましたら、お寺にご寄贈ください。よろしく願い申し上げます。

記

- 1, 家庭用の
パターゴルフ練習台
- 2, 普通の大きさの
オセロゲーム

発行責任 浄土真宗本願寺派善了寺 住職成田智信

メール: totuka@sol.dti.ne.jp ホームページ <http://www.zenryouji.jp/>

住所: 横浜市戸塚区矢部町125 電話: 045-881-0348 FAX: 045-881-0379